

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/09/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.36	-0.03
JPY/THB	0.2345	0.0000
USD/JPY	142.29	-0.12
EUR/THB	37.09	-0.02
EUR/USD	1.1119	0.0005
USD/CNH	7.095	-0.016
SGD/THB	25.76	0.02
AUD/THB	22.56	0.01
USD/INR	83.76	0.00
USD Index	100.60	-0.30

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.212	0.012
10Y (THB)	2.522	0.021
5Y (USD)	3.483	0.040
10Y (USD)	3.704	0.058

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,574.9	6
WTI (Oil)	70.91	-0.28
Copper	9,400.5	30.5

Stock

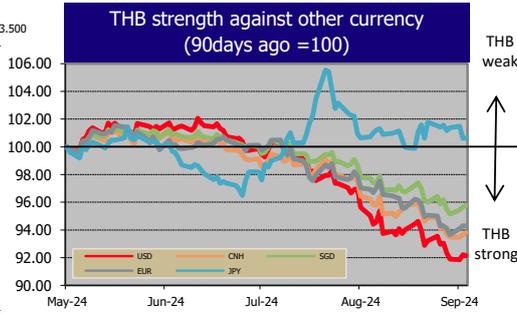
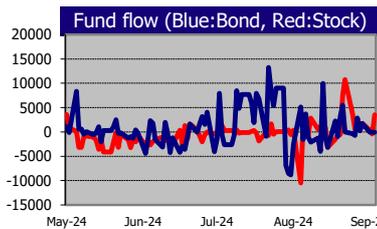
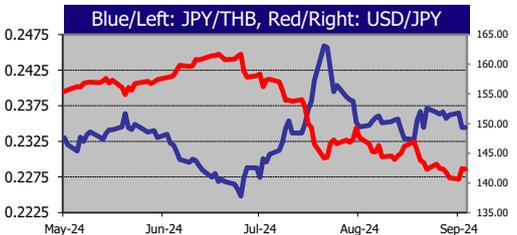
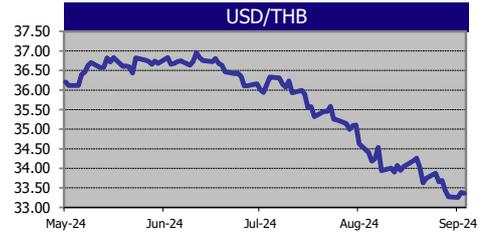
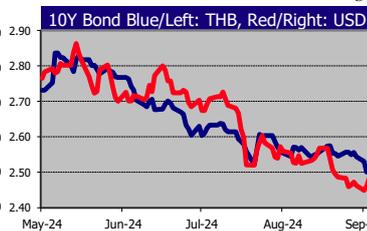
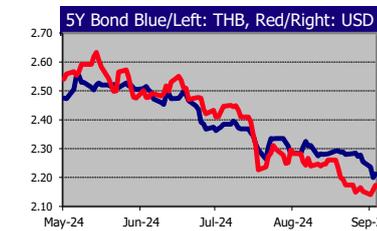
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,435.77	-0.83
NIKKEI (JP)	36,380.17	176.95
DOW (US)	41,503.10	-103.08
S&P500 (US)	5,618.26	-16.32
SHCOMP (CN)	2,717.28	13.19
DAX(GER)	18,711.49	-14.59

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,494	3909.3
Bond net flow	(66)	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツはほぼ変わらず。33パーツ前半までスタート。バンコク時間ではFOMCを控え、大幅利下げの可能性が意識され、総じてドル売りが優勢となった。NY時間にFOMCで50bpの利下げが決定され、同時に発表された声明文では、「インフレは依然として幾分高い水準にある」や「雇用の伸びは鈍化した」と指摘されたことを受けて、米金利の急低下とともにドルパーツは一時33パーツちょうどに迫る水準まで下落。しかし、その後パウエル議長の記者会見での「50bpは新しいペースだと捉えるべきではない」、「今後の利下げペースは急がない」などの発言を受けて、下落幅を取り戻す展開となり、結局オープンとほぼ変わらず33.36レベルでローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅下落。142円前半までスタート。東京時間ではFOMCでの大幅利下げの可能性が意識され、ドル売りが先行し、一時141円前半まで下落したが、その後は値を戻す展開となった。NY時間にFOMCで50bpの利下げが決定されたことやハト派的な声明文内容を受けて、米金利の急低下とともにドル円は140円前半まで急落。しかし、その後のパウエル議長の記者会見での発言を受け、米金利が戻す展開に、再び142円台まで反発、142.29レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

いよいよ米国の利下げが始まった。景気後退の可能性は高まっていないと指摘しながら0.50%という通常ではない利下げ幅を選択するのわかりにくい決定だったが、ともあれ昨日をもって米金融政策は重大な転機を迎えたことになる。そして米国が利下げサイクルに入ったということは、アジア各国・地域で自国通貨安懸念が後退することを意味し、それはすなわちアジアの中銀にとって利下げへ転じる環境が一つ整ったことも意味する。域内では既にフィリピンが8月に予想外の利下げに踏み切っているが、次に続く国はどこか。インフレが高止まりしているインドやベトナム、オーストラリアは先駆けにはならない印象、自国通貨安への警戒度が比較的高いマレーシアやインドネシアも早期利下げには慎重になるかもしれない。かかる中、タイは景気停滞、低インフレにもかかわらず通貨高が進んでおり、政府からは寧ろパーツ高を懸念する発言すら出ていることを踏まえると、外形的には他国に先んじて利下げに動く可能性は相応に高い。ただし、今週閣議決定されたばかりの現金給付策のインフレへの影響や、格差拡大に伴う家計債務の増加などタイ固有の事情も抱えており、金融政策の舵取りがそう単純ではないことは既にタイ中銀からも指摘されている通り。ここからは米利下げペースを押し量ることに加え、各国中銀の動きからも目が離せない。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.